

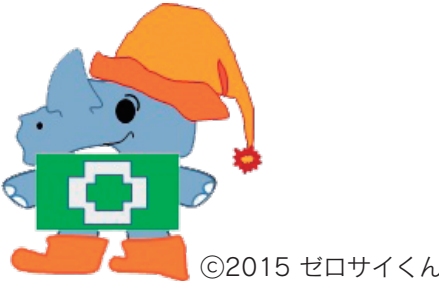
転倒しそうなところはありませんか？本当に大丈夫ですか？
もう一度、あなたの職場をチェックしてみませんか

＜転倒災害防止のためのチェックシート＞

チェック項目		チェック☑
1	整理・整頓・清掃・清潔に取り組んでいますか。	☐
2	通路、階段、出口に障害となる物を放置していませんか。	☐
3	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか。	☐
4	安全に移動できるような十分な明るさ（照度）が確保されていますか。	☐
5	時間に追われて、あわてて作業を行っていませんか。	☐
6	荷物を持ちすぎて足元が見えないことはありませんか。	☐
7	ポケットに手を入れながら、人と話しながら、携帯電話を使いながら歩いていませんか。	☐
8	作業靴は、作業や歩行に適し、ちょうど良いサイズのものを履いていますか。	☐
9	危険予知活動（KY活動）やヒヤリ・ハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか。	☐
10	段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識はありますか。	☐
11	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか。	☐
12	★冬季は、上記に加えてこの項目もチェックしましょう。 積雪・凍結などによる転倒災害を防止するため、天気予報に気を配り、時間に余裕をもった歩行・作業、駐車場・屋外通路の除雪・融雪、適切な履物・歩行方法の教育を実施していますか。	☐

チェックの結果はいかがでしたか？

- 問題のあったポイントは、計画的に改善しましょう。
問題が改善されれば、安全水準が向上し、働きやすい職場に。
- どう改善しよう？
職場の「安全委員会」等で、全員でアイデアを出し合ひましょう！



©2015 ゼロサイくん

「STOP!転倒災害プロジェクト」特設サイトのご案内

「STOP!転倒災害プロジェクト」特設サイトでは、転倒災害の現状から対策まで事業場での取組に役立つ情報を提供しています。さまざまな対策事例を知りたい方はぜひ特設サイトをご覧ください。

厚生労働省ホームページ 職場のあんぜん STOP!転倒

検索



毎年6月、12月～2月は重点実施期間です

「転ばないでね!」転倒災害防止対策

転ばないでね!



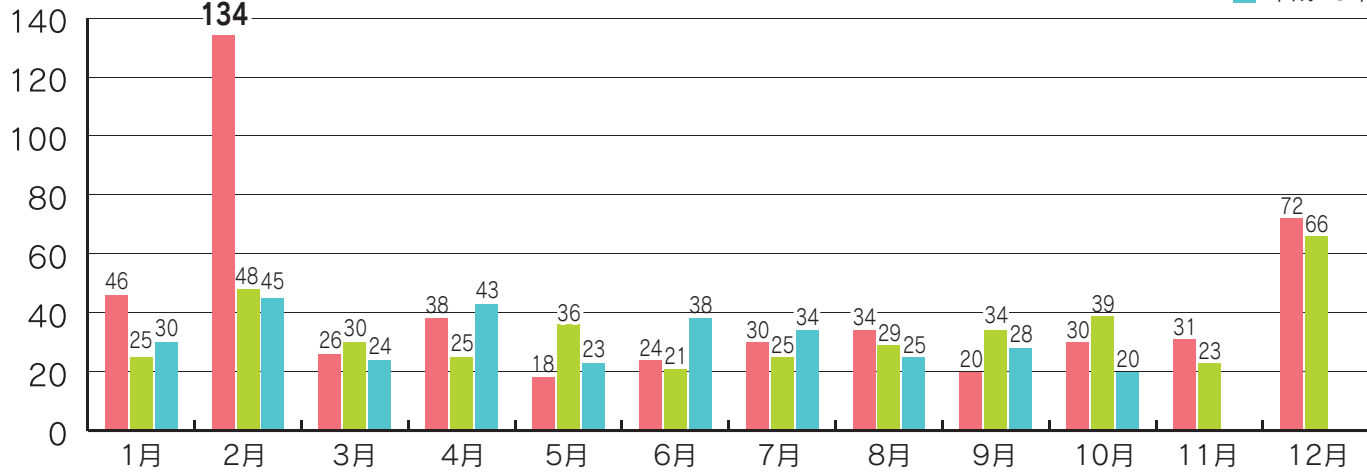
©2015 ゼロサイくん

冬の時期がやってきました!!

この冬も転倒災害に遭わないで、無事乗り切りたいですね
リーフレットを参考にしてくださいね♪

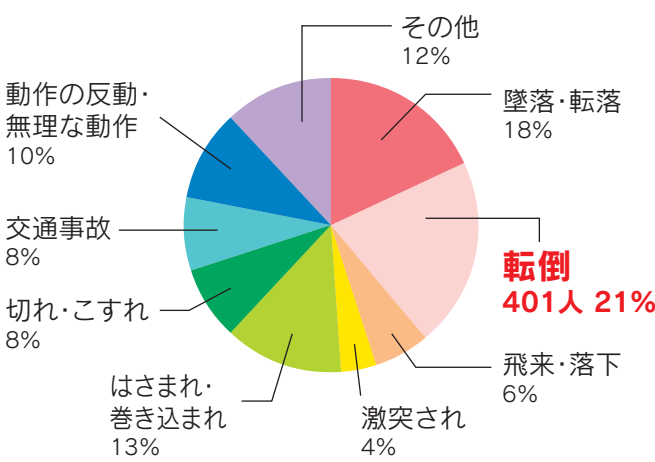
転倒災害は年間を通じて起きます
でも、やはり冬が本番!

月別転倒災害発生状況（労働者死傷病報告による休業4日以上）
■平成26年 ■平成27年 ■平成28年



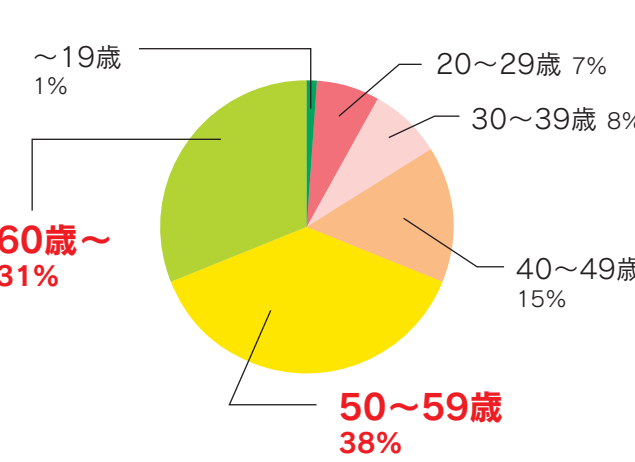
転倒が
全体の1/5を占める

平成27年事故の型別災害発生状況
（労働者死傷病報告による休業4以上の労働災害）



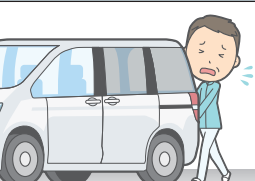
50歳以上が
全体の約7割を占める

平成27年年齢別転倒災害発生状況
（労働者死傷病報告による休業4以上の死傷災害）



福島労働局・各労働基準監督署

こんな災害が実際に起きています！

災害発生状況		再発防止のポイント
ビルメン業 清掃員 50代・女性 休業1か月	清掃先の病院に到着し、玄関から入ろうとしたところ、玄関タイルが前日の雪で凍っていたことから、滑って転倒、手首を骨折した。 	・滑りにくい靴を履く。 ・慎重に行動する。 【清掃先側の対策】 ・出入口にヒートマット等、雪・凍結に強いマットを敷く。
運送業 運転手 40代・男性 休業3週間	トラックから降りようとしたところ、路面が凍結しており、誤って足を滑らせ転倒し、ひざ等を打撲した。 	・降車時は、できるだけ凍結した場所を避ける。 ・凍結を想定して慎重に行動する。 ・経路・出先の危険マップを作成し、情報共有する。 ・滑りにくい靴を履く。
その他の商業 店員 40代・男性 休業12日	駐車場出口で客の車が雪のためスリップして動けなくなったことから、車を押したところ、急に車が動き出して支えを失って転倒した。 	・敷地内及びその近辺の除雪、融雪剤の散布を徹底する。 ・膝、肘用プロテクターを着用する。 ・滑りにくい靴を履く。
製造業 製造工 50代・男性 休業3か月	終業後、従業員用駐車場の自車に向かって歩いていたら、でこぼこになっていた雪道に足を取られ、転倒して足を骨折した。 	・敷地内の除雪、融雪剤の散布を徹底する。 ・路面を見やすい照明の確保。 ・社内の危険マップを作成し、情報共有する。 ・滑りにくい靴を履く。

転倒は個人の不注意だから防ぎようがないよね？

そんなことはありません

転倒災害を防ぐためには…

設備の改善、作業方法の改善、ひとりひとりの意識

これらを実現するためには…

(1)安全委員会等での取組 (2)作業現場の取組

1.安全委員会等で取り組むことは…

①転倒災害防止に係る現状と対策の調査審議

②チェックシートを活用して安全委員会等による職場巡視を実施し、職場環境の改善と労働者の意識啓発を図る

※冬季特有の積雪・凍結のリスク把握、対策、意識啓発も盛り込みましょう

※このリーフレットP.4掲載のチェックシートをご利用ください

何からやればいいのかわからない…

取組んだけど、また転倒…

今からできることをひとつずつ確実にやっていきましょう

まずは「職場の総点検」から始めましょう！

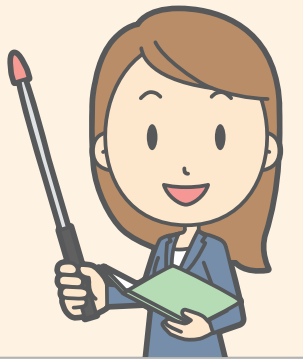
2.作業現場における転倒災害防止対策は…

通年対策

- ①4Sの徹底、床面の油汚れや水濡れ、障害物の除去、段差・継ぎ目等の解消
- ②照度の確保、危険箇所の表示等の「見える化」の推進
- ③安全な歩き方、作業方法の推進
- ④作業内容に適した保護具の着用の推進

冬季の対策

- ①上記「通年対策」の冬バージョン 例)ヒートマットの設置、冬靴装着
- ②気象情報を活用したリスクの低減、危険マップの作成等



こうして防ごう、転倒災害！

基本は4S「整理」「整頓」「清掃」「清潔」

- 荷物やゴミなど物が散らかっている職場や、水や油で床が滑りやすい職場は、災害の危険が高くなります。
- 4S活動は、作業のしやすさ、作業の効率化にもつながります。

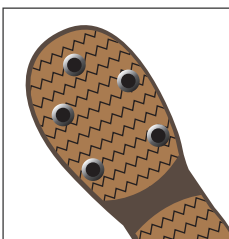
冬季はヒートマット等を設置



※事務所出入り口の階段など滑り易い箇所にヒートマットを設置する。

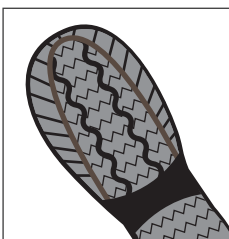
靴は大切。特に冬季は移動時の靴の選び方も大切

札幌発！雪みちを安全・快適に歩くための総合情報サイト『転ばないコツおしえます』より抜粋 (<http://tsurutsuru.jp/>)



ピン・金具付きの靴底

先の尖った金属のピンや金具が靴底についており、固い氷を強くひっかき突き刺します。(注意)じゅうたん等の上を歩くと金具がひっかかってつまづいたり、地下街や建物内のタイル等の床では滑りやすい。



深い溝のある靴底

深いギザギザ様の溝がついている靴底は、路面に対するグリップ力が強いので滑りにくくなっています。トレッキングシューズのような靴底が固くて単に溝が深い靴底は、つるつる路面では滑りやすいので、溝の深さだけではなく靴底の柔らかさも重要です。(注意)溝に雪が詰まると滑りやすくなります。

設備面の改善

- 「手すりを設ける」「段差をなくす」等の措置により、リスクを減らしましょう。

見える化

※見えない危険を可視化することで危険認識や注意喚起を高めましょう。



(一例)

- 通行区分を定め、事故の多い下3段に段数を示し、注意喚起を図る。

危険マップを作成する(通年・冬季)

職場の平面図にこれを書き入れ、注意喚起しましょう。

- 過去に災害が発生した場所
- ヒヤリ・ハット事例の多い箇所
- 危険予知活動で注意が必要とされた箇所
- リスクアセスメントで作業上の注意が必要とされた箇所や作業



やわらかいゴム底

柔らかいゴムを使った靴底は、路面に対する接着力が強いため滑りにくくなっています。



滑り止め材入りのゴム底

滑り止め材が混ざっている靴底は、ヤスリのように路面の表面をひっかくので滑りにくくなっています。